

あなたの受ける心臓核医学検査は...

□ 心筋血流検査です

血液が心筋各部位へ正常に流れているかを診る検査です。

- 【注意事項】 ● 検査前の食事や特定の薬を控えていただくことがあります。指示に従ってください。
- 軽い運動をしていただく場合があります。
 - 撮像は(1回, 2回)行います。
2回撮像を行う場合は、数時間お待ちいただく場合があります。

□ 心機能検査です

心臓が正常に膨らみ縮んでいるかを診る検査です。

- 【注意事項】 ● 検査前の食事や特定の薬を控えていただくことがあります。指示に従ってください。

□ 心筋脂肪酸代謝シンチグラフィ検査です

心臓の運動エネルギー源である脂肪酸が心筋各部位に正常に取込まれているかを診る検査です。

- 【注意事項】 ● 検査前の食事や特定の薬を控えていただくことがあります。指示に従ってください。

□ 心筋交感神経シンチグラフィ検査です

心臓の機能を調整している交感神経が正常に働いているかを診る検査です。

- 【注意事項】 ● 検査前の食事や特定の薬を控えていただくことがあります。指示に従ってください。

氏名:

予約日時: _____ 月 _____ 日 _____ 午前・午後 _____ 時 _____ 分

場所:

- 検査の予約日時を守ってください。
- 妊娠中・授乳中の方は申し出てください。

わからないことや不安な点がありましたら、遠慮なく担当の医師、技師、看護師におたずねください。

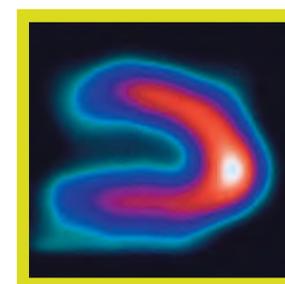
病院名

核医学検査の手引き

心臓核医学検査

検査を受けるにあたって

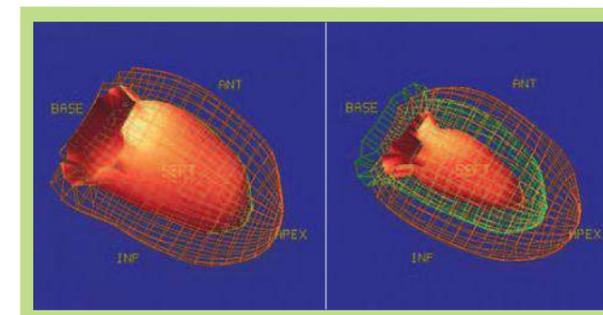
正常例



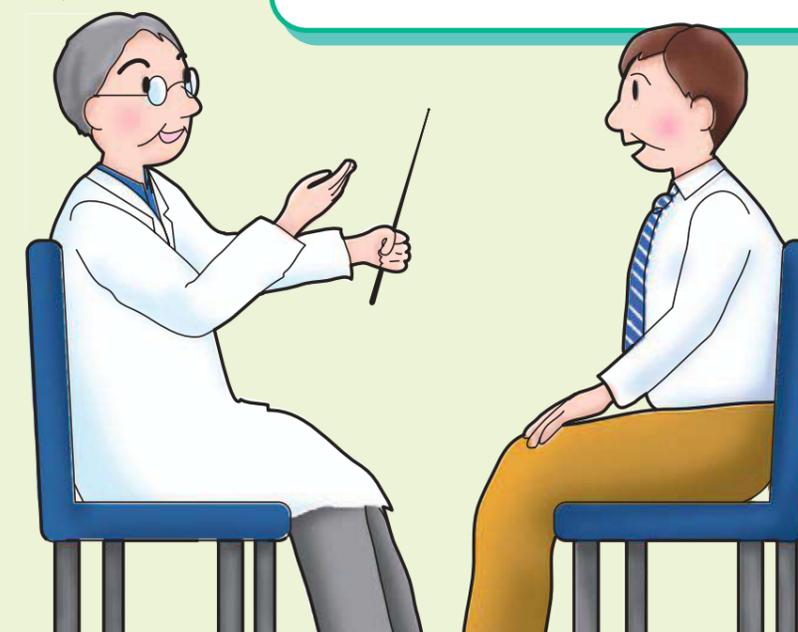
疾患例（心筋梗塞）



心臓の収縮の様子



心臓の状態や働きを詳しく調べます





心臓核医学検査とは

なにがわかるのですか？

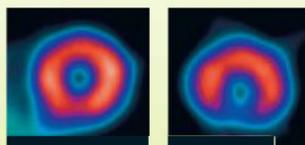
心臓の状態や動きを調べ、狭心症や心筋梗塞、心筋症などの病気の有無やその程度を診断します。治療計画を立てたり、入院の必要性を判断するのに役に立つ検査です。

心筋血流検査:心臓の筋肉(心筋)に栄養を運ぶ血液の流れをみます。

心筋脂肪酸代謝検査:心臓への脂肪酸(エネルギー源)の取り込み状況をみます。

心筋交感神経検査:交感神経の働き(心臓の機能を調整)をみます。

心機能検査:心臓が正常に膨らみ縮んでいるかをみます。

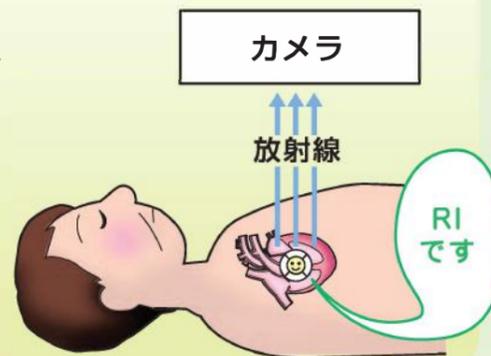


<正常例> <疾患例>

欠けている部分で血流が低下しています

どうやって調べるのですか？

放射線を出すラジオアイソトープ(RI)でしるしをつけた、心筋に集まる性質のあるくすり(放射性医薬品)を注射し、それから出る放射線を特別なカメラで撮影します。くすりを変えることで、血流、脂肪酸代謝、交感神経の様子をそれぞれ調べられます。また、時間を追って撮影した像を収集すると心機能を調べられます。最近では心電図同期SPECTという方法を用いて動画で心臓の動きをみることもできます。血管から細い管を入れて行う

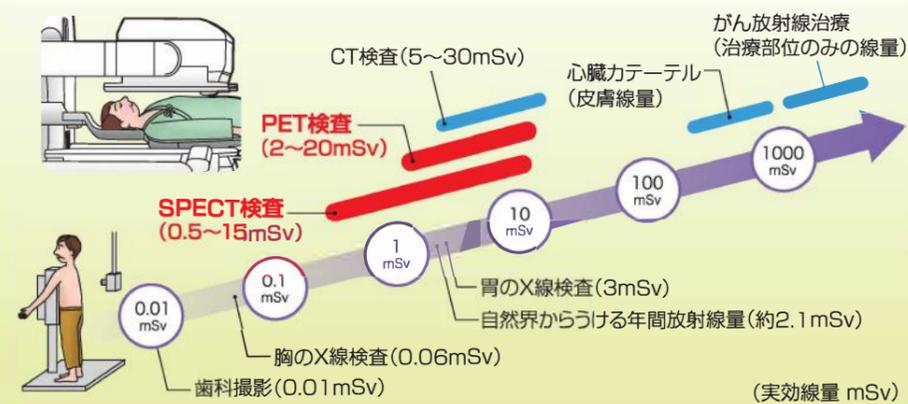


カテーテル検査より、負担が少なく安全に実施できるという特徴があります。

潜在的な異常を見つけるために、運動や薬で心臓に負荷をかける負荷検査を行うこともあります。

放射線の影響について

核医学検査1回あたりの被ばく線量は0.5~20mSv程度で、X線検査やCT検査で受ける被ばく線量と同程度と考えられます。検査の目的により投与する検査薬の量は異なりますが、投与量は微量なため、副作用はまれです。



【参考資料】 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
●量子医学・医療部門 CT検査など医療被ばくに関するQ&A : <https://www.qst.go.jp/site/qms/1889.html>
●放射線医学総合研究所 放射線被ばくの早見図 : <https://www.qst.go.jp/site/nirs/hayamizu.html>



検査の受け方

検査前

●診察を受けます

症状に合わせて検査の計画を立てます。疑問や不安がありましたら、納得のいくまで確認しておきましょう。妊娠中や授乳中の人は申し出てください。

●検査の予約をしてください

検査に使うくすりは検査日当日しか使えないため、検査予定に合わせて用意をします。直前のキャンセルは難しいため、確実に来られる日に予約してください。

●注意事項、指示を確認しておきましょう



検査日まで

検査前の食事や薬を控えていただくことがありますので指示に従ってください

検査当日(運動負荷心筋検査の場合)

●運動をします

まず、心臓に負担をかけた状態で検査するため、軽く運動していただきます。



軽く汗ばむくらい

5~10分

●くすりを注射します

検査に必要な放射性医薬品を静脈注射します。



●検査をします

装置のベッドに仰向けに寝ている間に検査します。胸のまわりをカメラが動くので両腕を挙げていてください。20~30分で終わります。もし気分が悪くなったら我慢せず申し出てください。

3~4時間安静にして待ちます

●もう一度検査をします

負担がかかったときの状態と比べるため、安静になった状態でもう一度同じ検査をします。



バンザイしてリラックス

終了

検査後

●結果の説明を聞きます

当日、または後日担当医から説明があります。他の検査結果と合わせて診断を行います。

正しい診察でよい治療!

